

【大学間協定留学】留学報告書

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語：California State University Long Beach
留学期間	2021年8月～2021年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2021年12月26日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月下旬 2学期:1月下旬～5月下旬 3学期: 4学期: 期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	33,919
創立年	1949

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	\$0	0円	明治大学にのみ払った
宿舍費	\$4444	502,211円	
食費	\$2020	228,260円	
図書費	\$100	10,000円	教科書購入
学用品費	\$0	0円	
携帯・インターネット費	\$740	83,228円	ポケットWiFi+通話料+通信料
現地交通費	\$0	0円	大学まで無料シャトルバス(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$265	30,000円	
被服費	\$975	110,000円	渡航前+現地
医療費	\$0	0円	
保険費	\$1140	128,723円	形態:明治大学+CSULB+寮の保険
渡航旅費	\$1630	184,380円	
ビザ申請費	\$440	49,529円	VISA, SEVIS, 郵送費, 証明写真
雑費	\$137	12,425円	布団セット
その他	\$650	73,530円	ワクチン(髄膜炎),PCR検査
その他	\$4425	500,000円	生活費 一か月約10万円
合計	\$16,966	約190万円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田空港 目的地:ロサンゼルス国際空港 経由地:なし
復路 出発地:ロサンゼルス国際空港 目的地:成田空港 経由地:バンクーバー
渡航費用

①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポール航空 料金:98,650 円 復路 航空会社:エアカナダ 料金:85,730 円 ∴合計:184,380 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:expedia) <input type="checkbox"/> その他(_____)
滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Beachside college) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
寮は選択肢が 4 つしかなくて、その中から選ばなければならなかった。私はコロナの関係で寮の申請が遅れたため希望していない寮になった。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
今まで CSULB に留学した先輩の留学報告書を見るとわかると思うが、ほとんどの人がインターナショナルハウスという留学生向けの寮に滞在している。私もそこに入りたかったのだが、そこは人気なので早めに寮申請しないと入れない。結局私は唯一のオフキャンパス寮である Beachside college という寮に滞在したのだが、住み心地はとても良かった。この寮の特徴をいくつか挙げるとすると、まずはオフキャンパスだということ。だが無料のシャトルバスが出ていて 10 分くらいでキャンパスに行ける。2 つ目はほかの寮と違ってプールがあるということ。3 つめは transfer の学生が多く比較的現地の学生がほかの寮と比べて多い(つまり留学生が少ない)。だがみんな本当に優しく私的にはここに滞在できて本当に良かったと思っている。
現地情報
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
事前に現地がどのくらい危険なのかはあまり調べていかなかったが、ロングビーチは比較的治安がいい(LA と比べると特に)。だがバックから常に目を離さないようにするなど最低限の防犯対策はした。夜には 1 人で外を歩かないようにもした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮のインターネットの接続は問題なかった。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地で銀行口座を開設せず、日本で作ったクレカを三枚持って行った。あとは割り勘やチップなどに使えるように現金も持って行った。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
特になし。紙マスクは高い。基本的には現地調達でいい気がする。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 交換留学生は最低12単位取得、最大19単位まで	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Hospitality Mgt	ホスピタリティマネジメント (入門)
科目設置学部・研究科	College of Health and Human Services
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Brianna Koster
授業内容	ホスピタリティ産業について学ぶ。
試験・課題など	中間期末のような筆記試験はなかったが、毎週ミニテストがあった。プレゼンが全3回(そのうち一回はペアプレゼン)。ファイナルペーパーはキャリアプロジェクトについてだった。
感想を自由記入	普通に面白かった。私は特にエアラインについて学びたかったが、エアラインについては取り上げられなかった。先生も優しくかった。グループワーク多め。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Cultural Anthropology	文化人類学入門
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	zoom(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 1 回
担当教授	Tom Douglas
授業内容	人類学について。考古学的なニュアンスが強かった気がするが人種や言葉の違いなどを学んだ。
試験・課題など	感想のところを参照
感想を自由記入	週に1回ズームで、あとは自習。三週ごとにクイズがあるがあまり難しくない。中間期末テストはなかった。Final paper で1000文字以上書かなければいけないが先生が参考資料を提示してくれているのでそこまで大変ではない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to World's Languages	世界の言語
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)

授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Matthew Davidson
授業内容	様々な言語を言語学的な視点から学習する。特にラテン語を中心に学んだ。
試験・課題など	試験は中間・期末の二回でオンラインで行われた。課題は頻繁にない代わりに最後のファイルペーパーで一つの言語を分析しなければならなかった。
感想を自由記入	イントロだがかかなり言語学的な専門用語が出てきた。難しいところもあったが、先生が授業内容をタイプしながら進めてくれるため、最悪そのスクリプトを読めば大体は理解できる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender, Race, Sex and Body	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	フルオンライン(オンデマンド) (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が1回
担当教授	Dr. Mariam Youssef
授業内容	ジェンダーについて様々な視点から学ぶ。日本ではジェンダー単体について学ぶ機会が少ないので、新鮮だった。
試験・課題など	課題は毎週ディスカッションポストと軽くエッセイがある。試験はクイズではなくエッセイを書かされたが、授業内容のおさらいなのであまりつらくない。
感想を自由記入	わからないところがあったら教授に聞けばすぐに返信をくれたり、アドバイスくれたりする。日本よりもgenderに対して自由な考え方を持つアメリカで学べてすごくためになった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入して

ください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	選考
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	6・7月：ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保等
	8月～9月	留学
	10月～12月	留学、帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学先にこの学校を選んだのは、海が近くてキャンパスの雰囲気よさそうで、そして何より生徒の人種が多様だったことが理由です。私の留学の目的はもちろん語学勉強のためでもありましたが、様々な人とかかわっている色々な考え方を学びたいというのが一番の目的でした。初日(特に最初の3日間)はそんなことを考える暇もないほど、友達作りが大変で行ってすぐにホームシックになりそうでした。さすが友達ができてからは毎日が本当に楽しくて、半年間なんて秒で過ぎました。私の当初の目的も果たせて、帰国した今は具体的に何がやりたいかはまだ決まっていますが、とにかく何かしたい！と新しいことを始めたい意欲が沸き上がっています。留学を考えている皆さんは絶対に1年間にした方がいいと思います。というのも、半年なんて本当にあつという間だしこんな短期間で友達と離れるのは本当にキツイからです笑。留学中は様々なことがありましたがここでは書ききれないと思うので一つだけ書かせてもらおうと、語学力よりもコミュニケーション力が留学には必須だということを感じておいてほしいです。語学なんてどうにかなりませんが、そもそも話す意欲がないと友達もできないし、会話もできません。語学力なんて留学中にいやでも少しは身に付きます。なので自分の語学力が不安で留学に行こうか迷っている方はもったいないですよ！